

# 日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会  
第9号  
1991年5月31日

## 保健婦五〇年に寄せて

亀山美知子

本年は、昭和一六年（一九四一）に保健婦が誕生してから、丁度五〇年目にあたる記念すべき年である。

もともと、昭和一六年に保健婦誕生の起源を求めた根拠というのは、その年の七月一〇日付で「保健婦規則」が制定されたからであり、保健活動にかかわる看護婦や産婆が登場したのは、さらに二〇年ばかり前の大正期まで溯らなければならぬ。

大正期は世界的な公衆衛生生活の幕明け時代であった。それは一九一四、一五年（大正三、四）の第一次世界大戦に起因する。大戦

後、欧州各国は自国民の疲弊に気づいたのである。国民の疲弊はそのまま国力の低下につながる。軍事力としての兵力の増強も必要であったが、それ以上に戦後復興のための労働力の確保という問題もまた急務であったといえる。そのため保健政策の一環が、公衆衛生事業にかかわる看護婦の養成であった。

当時、すでに結核撲滅事業に取り組んでいた万国赤十字連盟に対して協力を求めた国際連盟は、一九二〇年（大正九）に第一回公衆衛生看護婦講習会をロンドンで開催することに決定し、各国にその

参加を呼びかけたのだった。これに呼応し、日本赤十字社は自社看護婦の参加を企画したものの、時間的な余裕がなく、同社は翌年の第二回講習に全国の看護婦の中から語学力などを含めた有能な候補者を選出し、ロンドン大学のベッドフォード・カレッジに派遣した。その第一号となったのが田淵政代であった。続いて翌年派遣されたのが井上なつゑである。二人は、その後、体操の指導などを含めた公衆衛生活動に取り組むこととなる。

一方、これと相前後して聖路加国際病院もまた母子保健事業をはじめとする訪問看護事業に着手した。さらには、関東大震災後の救護活動には恩賜財団済生会なども被災者に対する巡回看護事業に取り組み、いわば日本型の保健事業が萌芽した時代であったともいえる。同様のことは全国各地でも起こりはじめ、農村・漁村などで地道な活動を続ける看護婦や、巡回産婆として生活困窮者の援助活動に参加する産婆の姿もみられるようになった。

こうして各地で公衆衛生活動にかかわった看護職は、百を超える名称、不統一な資格、待遇の中で黙々と人びとの健康増進のために

働き続けることになったのである。

昭和期は大正デモクラシー期後半、日中戦争の開始、と微妙な世相の中に歩み出した。その中で、聖路加の平井雅恵は東京市の公設保健所（京橋館）の初代の館長の地位に就任した。昭和一〇年（一九三五）のことだった。

だが、徐々に準戦時下体制への傾斜が進み、軍が社会保健省案を提出し、結果的には昭和一三年に厚生省の誕生をみ、すでに施行されていた「保健所法」中の保健婦の誕生は時間の問題となりはじめた。戦時下、ついに国策の一環として保健婦が昭和一六年、制度上登場するに至ったのである。

さて、五〇年後の今日、一九七八年のアルマ・アタ宣言以来、プライマリ・ヘルス・ケアは、西暦二〇〇〇年までに世界中の人びとに良好な生活を、という人道的目標をめざして国際的な活動の展開がなされている。高齢化社会の到来、低医療費政策への転換を迫られる先進国と、経済的不均衡にあえぐ後進諸国。この新たな非常事態の中で、いずれも保健婦の活動は注目されるものとなった。今こそ、その歴史の中から多くの教訓が求められる時代だといえよう。

# 日本看護歴史学会第五回大会開催のおしらせ

巻頭言でもおしらせしたとおり本年は日本の保健婦が誕生してから五〇年にあたることを記念し、昨年の大会で予告されたように、「保健婦五〇年記念」をメイン・

テーマとして企画いたしましたので、会員外の方々にも保健婦の歴史に関心をお持ちを頂けるようお誘い頂きたいものです。

また、これまで本会の大会は関西・関東地区で交互に開催されて参りましたが、今回はその中間点である名古屋で開催されることになり、同地の会員である大平政子氏、長川トミエ氏、山田重子氏ほかの方々にお世話になることになりました。

## 第五回大会開催日程

会場 国立名古屋病院管理棟  
五階講堂と会議室  
名古屋市中区三の丸四一  
一  
（〇五二）一九五一一一一一  
交通 地下鉄藤ヶ丘方面「栄」下車、同名城線乗り換え、大曾根方面「市役所」下車

徒歩約二分。（会場案内図などは、次回詳報予定）  
期日 八月二四・二五日（土・日）  
参加費 四千円（両日有効）

第一日目（八月二四日・土）

12時開場・受付開始  
13時～14時30分 講演  
元聖路加看護大学 前田アヤ氏  
15時～16時 研究発表  
16時～17時 総会  
18時～20時 懇親会

第二日目（八月二五日・日）

10時～12時 分科会  
13時～14時 分科会活動報告  
14時30分～16時 講演  
元大阪大学公衆衛生学教授 丸山 博氏

※ 今回の大会に参加を予定される方は、会場の整理の都合上、御参加の有無、出席の場合は二日目の食事の有無、分科会のテーマなどについて、事務局まで御一報下さい。

## 研究発表を募集します

来る第五回大会第一日目の研究発表会の報告者を募集いたします。奮って御応募下さい。

### 応募要領

◆ 研究テーマ、レジュメを原稿用紙（四〇〇字）二枚以内にまとめ、本会事務局宛に郵送のと。

◆ 募集締切日 一九九一年六月三〇日（当日消印有効）

◆ 採否の発表 本会報第十号紙上。および、本人通知予定。

◆ なお、採用された研究内容であっても、査読員五名の協議のうち、テーマ・内容等についてのコメントを行なう場合がありますので、予め、御留意下さるようお願いいたします。

また、研究発表の時間は、発表者数で一時間を割ったものとします。（質疑応答の時間を含む）  
◆ 応募資格 本会会員であること。

## 分科会、話題提供へのお誘い

現在、七分科会が活動してま。今年目標は、新しい研究領域の分科会が誕生することです。この研究テーマの下に集まりましょうと、ぜひ名のりをあげて下さい。申し込みは左の通りです。

内容 1. 氏名

2. 研究テーマ

3. 要旨と呼びかけ

一〇〇字以内

期日 6月30日まで

宛先 〒338 浦和市上大久保519

埼玉県立短期大学 渡部 尚子

## ◆ 保健婦五〇年記念テレカ ◆

日本看護歴史学会では、去る一九八八年、日本に近代的看護婦が誕生して百年になるのを記念し、テレホンカードを発行いたしました。今年も「保健婦五〇年」を記念し、再びテレホンカードを製作・発売することになりました。出来上りましたら、あらためて御紹介いたします。  
テレカ五〇度数 予価九百円

